

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	18 - 学長 - 1
-----------------	-------------

平成 18 年度配分 研究成果の概要

研究名	持続的な社会を支えるサステナブルデザインの基礎的研究				
配分を受けた特別研究費	学長 特別研究費 2,050 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	空間造形学科	教授	宮川 潤次	共同研究まとめ 研究会運営等
共同 研究 者	デザイン学部	生産造形学科	学科長	坂本 鐵司	理論的研究まとめ等
	デザイン学部	生産造形学科	教授	伊坂 正人	研究会まとめ等
	デザイン学部	生産造形学科	教授	佐井 国夫	公開勉強会まとめ等
	デザイン学部	生産造形学科	教授	三好 泉	教育・研究方針まとめ 等
	デザイン学部	メディア造形学科	准教授	羽田 隆志	教科書作り検討等
	デザイン学部	空間造形学科	学科長	鳥居 厚夫	理論的研究まとめ等
	デザイン学部	空間造形学科	教授	古瀬 敏	重点的研究テーマま とめ等
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要		号 数	第 8 号 ( H20 年 3 月 発行 )	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

地球温暖化などの環境悪化が進む中で、化石燃料に依存した消費型社会から生態的循環に基づいたサステナブル(持続可能)な社会への移行が求められている。本学においても、今後の持続可能な社会を「ものづくり」と「環境づくり」の面から支えるサステナブルデザインは、ユニバーサルデザインと並ぶ教育・研究の重要な軸のひとつとなることが考えられる。

本研究は、本学における今後のサステナブルデザインに関するデザイン教育・研究を進めるための初年度研究として、効率的な研究を進めるための学内での研究組織づくり、及び、サステナブルデザインの考え方やその実践手法の調査分析などの基礎的な研究を主目的として行った。併せて、地域への展開の可能性等について検討を行った。

(研究の実施方法等)

- 1) 研究組織「サステナブルデザイン研究会」の設立
- 2) サステナブルデザインの理論的研究
- 3) 本学におけるサステナブルデザイン教育・研究のありかたの検討
- 4) 教材となるデザイン事例等資料収集
- 5) 公開勉強会、研究報告会等の開催
- 6) 重点的研究テーマの抽出

(得られた成果等)

- ・本学のサステナブルデザイン研究を効率的に進めるための学内研究組織として「サステナブルデザイン研究会」を設立した。
- ・本学におけるサステナブルデザインのあり方を、エコロジカルデザインとソーシャルデザインの複合領域として位置づけた。
- ・新カリキュラムにおけるサステナブルデザイン科目の位置づけが検討された。
- ・次年度以降に向けての重点的研究テーマを抽出し、研究会及び関連の個人研究の位置づけを明確にできた。
- ・3回のサステナブルデザイン公開研究会、及び関連の「はままつ水環境市民シンポジウム」の開催によって、研究者や市民活動グループとの交流及び情報交換が行われた。同時に、公開イベント実施によって、地域への当研究の広報効果、及び啓発が行われた。